

各 位

2022年6月21日
株式会社インプレス

本当に必要な金額の答えと今からできる対策を徹底解説！
『マンガと図解でよくわかる 老後のお金』を
6月21日（火）に発売

インプレスグループでIT関連メディア事業を展開する株式会社インプレス（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：小川 亨）は、老後資金の試算と対策方法を徹底解説した書籍『マンガと図解でよくわかる 老後のお金 本当に必要な金額の答えと今からできる対策』を2022年6月21日（火）に発売いたします。



■「老後は2000万円足りなくなるってほんと?」という不安に答える1冊

2019年に金融庁が公表した「老後2000万円問題」が未だに話題です。実際、この金額は2017年の無職世帯の高齢夫婦の平均支出がもとになっており、万人に当てはまるわけではなく、コロナ禍を経て支出の内訳やライフスタイルも変化しています。そんな今、老後の資金はどのように考え、対策するのが賢いのでしょうか？ そんな疑問に答えるべく、刊行されたのが本書です。

老後不安の大きな原因は、そもそも「入るお金」と「出るお金」が漠然としていることが挙げられます。双方の金額は、職業、世帯、ライフスタイルによって異なり、対策を練るにも資金計画を立てるにも、「自分にとって必要な金額」を試算しながら検討するのが正攻法です。本書では、誰もが簡単にできる「入るお金」の把握の仕方、増やし方を徹底解説。特に、老後の収入の大部分を占める「公的年金」を増やす方法、また自分の頑張り次第で老後資金にできる「私的年金」の作り方にページを割きました。

これを読めば、「老後2000万円問題」をむやみに心配する必要はなくなります。自分にとって「本当に必要な金額の答えと今からできる対策」を練るためのヒントが満載の1冊です。

■ライフスタイル別、年代別の年金攻略がわかりやすい

「会社員と専業主婦（夫）」「自営業同士の夫婦」といった世帯・ライフスタイル別、「20～30代」「50代」といった年代別に、それぞれ予想年金受給額を試算し、増やすための対策を提案。漠然とした将来への不安に対して具体的な数字を示しつつ、さらにマンガと図解を用いてわかりやすく解説しています。

■紙面イメージ



各章の冒頭にマンガを掲載しているから、「自分ごと」としてイメージしやすい

SECTION 09
老後のお金

ライフスタイル別年金予想額の例
会社員同士の夫婦
年金額と今からできる対策

繰り下げてさらに増額の可能性も

夫婦2人と会社員の共働き。2人とも老齢基礎年金と老齢厚生年金の2階建ての年金を受給できます。仮に、2人とも65歳まで会社員として働き続けた場合、年金受給額は年間400万円近く、月に約30万円と、老後の生活には安心できる金額といえる受給額になります。

さらに年金額を増やすには、年金受給時期を遅くすることも有効です。老齢年金は原則65歳から受け取れますが、受給開始時期は60歳から75歳までの間で選択することができます。65歳より前に繰り上げ受給をすると、1カ月あたり0.4%または0.5%減額されます。逆に65歳以降に繰り下げ受給をすると、1カ月あたり0.7%増額され、上限の75歳で受給をすると増額率は84%になります。繰り上げ受給は、原則老齢基礎年金と老齢厚生年金をセットで同時に行わなければいけません。繰り下げ受給は、別々にどちらか一方を繰り下げることができます。

例えば、どちらかの老齢厚生年金だけ75歳まで繰り下げると、65歳でもらう受給額の84%も増額することができます。このケースのように、65歳の時点で夫婦2人の年金額が十分ある場合は、どちらか一方の年金の受給開始時期を遅らせることで、老後の生活の安心感もさらに増すこととなります。老後の年金の繰り下げ受給については、詳しくは、第3章の94ページを参照してください。

1章 「老後のお金」の「もやもや」を解消しよう

○ 会社員の夫と会社員の妻の場合

CASE 3 プロフィール
夫：会社員・45歳。22歳～65歳まで会社員として働く（厚生年金加入期間＝43年間）
妻：会社員・42歳。22歳～65歳まで会社員として働く（厚生年金加入期間＝43年間）

65歳からの年金予想額 ↓

夫	老齢厚生年金	117万4000円
	老齢基礎年金	77万7800円
+		
妻	老齢厚生年金	100万800円
	老齢基礎年金	77万7800円
↓		
合計		373万400円（月31万円）

もっと増やすには？
妻の老齢厚生年金だけでも、受給開始を75歳まで繰り下げると、受給額年間100万800円が184万1472円に増額されます。

具体的な数字、豊富な図解とイラストを用いた、わかりやすい解説ページ

■本書は以下のような方におすすめです

- ・「老後 2000 万円問題って本当なの？」と疑問に思われている方
- ・企業年金や退職金の賢い受け取り方を知りたい会社員の方
- ・厚生年金のない自営業やフリーランスで年金を増やしたい方
- ・「おひとりさま」の老後資金対策を知りたい方
- ・介護や医療費の平均額や対策を知りたい方

■購入者限定特典、電子書籍（PDF版）がもれなく付いてくる

本書をご購入いただいた方には、もれなく電子書籍（PDF版）のダウンロード特典が付いてきます。タブレットやスマートフォンなどでも読みたい場合に、ご活用できます。

■本書の構成

- 第1章 「老後のお金」の“もやもや”を解消しよう
- 第2章 「出るお金」を把握して今から対策しよう
- 第3章 「入るお金」の代表格・公的年金を攻略しよう
- 第4章 私的年金や企業年金で「入るお金」を増やそう
- 第5章 iDeCoで年金額を増やそう
- 第6章 つみたてNISAで老後の資産運用
- 第7章 「万一のお金」の仕組みを知っておこう
- 第8章 こんなことも知りたい! 「老後のお金」Q&A

■書誌情報



書名：マンガと図解でよくわかる 老後のお金 本当に必要な金額の答えと今からできる対策

著者：酒井富士子

発売日：2022年6月21日（火）

ページ数：216ページ

サイズ：A5判

定価：1,650円（本体1,500円＋税10%）

電子版価格：1,650円（本体1,500円＋税10%）※インプレス直販価格

ISBN：978-4-295-01422-5

◇Amazonの書籍情報ページ：

<https://www.amazon.co.jp/dp/4295014222/>

◇インプレスの書籍情報ページ：

<https://book.impress.co.jp/books/1121101114>

◇書影ダウンロード：<https://dekiru.net/press/501422.jpg>

■著者プロフィール



酒井富士子（さかい・ふじこ）

経済ジャーナリスト/金融メディア専門の編集プロダクション・株式会社回遊舎 代表取締役。日経ホーム出版社（現日経BP社）にて「日経ウーマン」「日経マネー」副編集長を歴任。リクルートの「赤すぐ」副編集長を経て、2003年から現職。「お金のことを誰よりもわかりやすく発信」をモットーに、暮らしに役立つ最新情報を解説する。著書に『マンガと図解でよくわかる つみたてNISA&iDeCo&ふるさと納税 ゼロからはじめる投資と節税入門』（インプレス）、『おひとりさまの終活準備BOOK』（三笠書房）などがある。

【株式会社インプレス】 <https://www.impress.co.jp/>

シリーズ累計 7,500 万部突破のパソコン解説書「できる」シリーズ、「デジタルカメラマガジン」等の定期雑誌、IT 関連の専門メディアとして国内最大級のアクセスを誇るデジタル総合ニュースサービス「Impress Watch シリーズ」等のコンシューマ向けメディア、「IT Leaders」、「SmartGrid ニュースレター」、「Web 担当者 Forum」等の企業向け IT 関連メディアブランドを総合的に展開、運営する事業会社です。IT 関連出版メディア事業、およびデジタルメディア&サービス事業を幅広く展開しています。

【インプレスグループ】 <https://www.impressholdings.com/>

株式会社インプレスホールディングス（本社：東京都千代田区、代表取締役：松本大輔、証券コード：東証スタンダード市場 9479）を持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「デザイン」「山岳・自然」「航空・鉄道」「モバイルサービス」「学術・理工学」を主要テーマに専門性の高いメディア&サービスおよびソリューション事業を展開しています。さらに、コンテンツビジネスのプラットフォーム開発・運営も手がけています。

【本件に関するお問合せ先】

株式会社インプレス 広報担当：丸山

E-mail: pr-info@impress.co.jp URL: <https://www.impress.co.jp/>

※弊社はテレワーク推奨中のため電話でのお問い合わせを停止しております。メールまたは Web サイトからお問い合わせください。